

鈴木明子さんがバンクーバーオリンピックで堂々の8位入賞(女子フィギュアスケート)

中学・高校の6年間を高蔵で過ごした鈴木明子さん(平成15年3月高校卒)が、バンクーバーオリンピックで見事に8位入賞を果たしました。鈴木明子さん本当におめでとうございませう。在学中は、スケートの練習と、学業を見事に両立されました。様々な壁を乗り越えて、オリ

ピックの代表の座を勝ち取り、さらに本番の舞台でも堂々の8位入賞を成し遂げたことは、高蔵中学校・高校の誇りであります。鈴木明子さんの益々のご活躍をお祈りいたします。



写真提供 フォトハウス

中島梨乃さん、バトンで世界へ

名古屋経済大学高蔵高等学校バトン部所属で、現在普通科3年生の中島梨乃さん。先日開催された第35回全日本バントワリング選手権東海ブロック大会においてソルトワール、ソストラット共に第1位に入賞し、東海ブロック代表選手として全国大会への出場が決定、同時に名古屋市議会賞を受賞しました。

6歳から「オサムバトンスタジオ」でバトンを習い始めると、師事する渡部松代先生(現高蔵高校バトン部のコーチ)のご指導のもとでめきめきと頭角を現し、さまざまな部門で入賞。東海ブロックでは今回を含めて9連覇を成し遂げました。

高蔵高校生徒として、バトン部員として、そして東海ブロックを代表する選手としての生活は多忙を極め、その一部は先頃東海テレビで紹介されました。

彼女が目指すのはズバリ、「世界」。全国大会で入賞し、ノルウェーで開催される第30回世界バントワリング選手権大会に日本を代表して出場することです。その日を夢見て、今日も練習、明日も練習。夢実現への努力は続きます。

(ニュース提供 高蔵高校)

平成21年度 卒業式

Congratulations!

平成21年度卒業式が3月18日、市邨記念体育館で行われ、大学院生74名に学位記、大学生373名、短期大学部生153名に卒業証書が授与されました。また博士号取得者1名をはじめとして学長賞が10名に贈られました。



平成22年度 入学式

Welcome!

平成22年度入学式は4月1日、市邨体育館で行われ、大学院生84名、大学生439名(編入も含む)、短期大学部生190名の新生を迎えました。うち留学生の入学は49名でした。今年人間生活科学部教育保育学科の鈴木伸也くんが新生を代表して宣誓の言葉を述べました。



学校法人市邨学園「教育研究充実寄附金」のお願い 連絡先/学校法人市邨学園法人本部(寄附金担当係) TEL.052-853-0047(代表)

学校法人市邨学園では、本法人設置校の教育研究の更なる充実発展を目指し、教育研究充実寄附金を随時募集致しております。ご寄附いただける場合には、上記までご連絡いただきますようお願い申し上げます。なお、一定の条件を満たした場合には、寄附金に対する免税措置を受けることができます。

Meikei

[名経大通信]

Vol.32
2010年
4月15日

名古屋経済大学
www.nagoya-ku.ac.jp

Meikei QR de アンケート
「名経大通信 Vol.32」について、ぜひご感想をお聞かせください。
http://www.smaster.jp/Sheet.aspx?SheetID=27550



• Special feature •

【巻頭特集】短期大学部キャリアデザイン学科 「現代GPの取り組みを終えて」

【特集】卒業生から「贈る“ことば”」

アンケートにご協力いただいた方から抽選で20名様に1,000円分の図書カードをプレゼント!

【Meikei News】第4回 Meikei Award 受賞者

【活躍する卒業生】BMWのディーラーで働く河田哲也さん

Relay Essay
アメリカで出会った「日本料理」下川 郁子 准教授

社会人基礎力を培う実践的教育に大きな成果

文部科学省の選定を受け3年間にわたって展開してきた現代GPフォーラムの取り組み。現場での体験を通して、学生たちに、社会人としての基礎力に欠かせない「チームで働く力」「前に踏み出す力」「考え抜く力」を体得させてきました。今後も、この経験の蓄積を教育の場面で生かしていきます。

現代GPの取り組みを終えて

キャリアデザイン学科 現代GP取組責任者
代田 義勝



平成19年8月、文部科学省から、本学科の取り組み「各種メディアを活用した社会人基礎力の育成ーワークショップ型ゼミナールの実施と社会人基礎力評価ツールの開発を通してー」が「現代的教育ニーズ取組支援プログラム(通称、現代GP)」の選定を受け、平成19年10月より3年間にわたって本取り組みを推進して参りました。文部科学省による取り組みに対する支援期間は3年間(19年度~21年度)で、この3月で期間が満了となりました。3年間の経験の蓄積は今後もキャリアデザイン学科の教育の様々な場面に活かされていきますが、ひとまず、この節目にあたって、これまでの成果について報告させていただきます。

本取り組みでは、①ワークショップ型ゼミナールの実施、②各種メディアを活用した情報の発信、③総合キャリアポートフォリオの活用、そして④社会人基礎力評価ツールの開発の四つの活動を事業の柱としてきました。

1 ワorkshop型ゼミナールの実施

19年度は教員全員が手探りの状態からのスタートでした。自分の専門分野の中でどのようなワークショップが展開できるのか、各ゼミナールはそれぞれ試行錯誤するなか、結果として多くが調査型ワークショップを実施していく形になりました。イベント型ワークショップに取り組み高い成果をあげたゼミナールもありました。20年度スタートのゼミナールでは、最初に取り組んだワークショップ活動の問題点を次のワークショップ活動で改善するところまでマネジメント・サイクルを運用できるゼミも現れてきました。21年度では、体験型、プロジェクト型などワークショップ型ゼミの新たな類型への発展がみられるようになりました。



犬山キャンパスにてファッションショーを開催する光松ゼミ(イベント型ワークショップ)



愛北FMで生放送に参加する代田ゼミ(プロジェクト型ワークショップ)

2 各種メディアを活用した情報の発信

当初メディア制作は、ワークショップ活動の目的そのものではなく、ゼミナールで取り組んだこと(テーマ)を楽しみながらふりかえる(CHECKする)ための補完的活動でした。しかし、メディア制作そのものをゼミテーマとする新しい形も出てきました。ワークショップ型ゼミナールと各種メディアの活用という2段階でゼミナールを運営することが基本の形ですが、例えば「ミニコミ誌を作成するために調査する」のようにメディア制作そのものをゼミテーマとした場合の方が、学生にとっては目的が明確で、学生のやる気をより引き出しやすいようです。



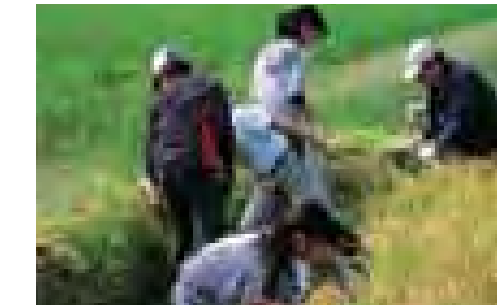
日比野ゼミが発行した小冊子「5分で500円のMEIChKAグルメ」(調査型ワークショップ)



教員集合写真(撮影:平成21年度卒業生 伊藤豊大)

3 総合キャリアポートフォリオの活用

総合キャリアポートフォリオの活用とは、キャリアデザインと社会人基礎力に関連して学生が記述した書類などをファイルしておくものです。この活用は、①2年間の学生生活を計画的に過ごす助けとなること、②自分のキャリアデザインを描く助けとなること、③就職活動に役立てることができることに役立っています。とりわけワークショップ活動を通して得た具体的成果に関する記述は、履歴書やエントリーシートを書くとき、あるいは面接を受けるときに役立っています。



環境研究所豊明主催「田んぼの学校」に参加する水口ゼミ(体験型ワークショップ)

4 社会人基礎力評価ツールの開発

ベネッセコーポレーションの協力を得て、メディア制作場面とワークショップ型ゼミナール実施場面を合わせた47設問からなる社会人基礎力評価ツールが出来上がりました。昨年の5月と12月にこの評価ツールを本学科の学生に受検してもらいましたが、その結果、ワークショップ型ゼミナールを本格的に展開した2年生で多くの社会人基礎力項目において伸びていることが確認できました。

また、私たちは社会人基礎力評価ツールを開発する一方で、企業が短大生卒業生に求める社会人基礎力についても調査を進めてきました。本学内合同企業博参加企業に協力いただき、毎年「企業が短大生に求める社会人基礎力調査」を実施してきています。

その結果、短大生として第一に備えておかなければならない社会人基礎力は規律性や傾聴力であり、次に主体性と実行力であることがわかりました。社会人基礎力の大きな枠組みで言えば、「チームで働く力」がまず求められ、ついで「前に踏み出す力」、「考え抜く力」が求められていることがわかりました。

現代GPとは？

GPとは、Good Practiceの略称で「優れた教育実践」のことです。文部科学省が、全国の大学、短大、高専から申請されたプログラムの中から「現代的ニーズに対応した優れた教育実践」を選び、3年間にわたって財政支援を行います。(平成19年度の「現代GP」には、600件の申請があり、119件が採択されました)



現代GPフォーラムの様子

本取り組みでは、毎年、年度末に現代GPフォーラムを開催してきており、この3月にも「短大における社会人基礎力の育成」と題して名駅サテライトキャンパス10階ホールにて催しました。

その中で、平成19年度以来、社会人基礎力評価ツールの開発にご協力いただいたベネッセコーポレーションの藤井恒人氏から、「学生の特徴を知るために実際にゼミナールを観察させてもらった。また、当社のアセスメントの結果から、1年生(19年度)が全国水準に照らして自分に自信が持っていないことに気づいた。2年生になると1年生の時と比べて格段に成長し、「前に踏み出す力」「考え抜く力」について全国平均に追いつくか、あるいはそれを超えるような成果が見られた」と、ワークショップ型ゼミナールの成果について高い外部評価をいただきました。

卒業生から贈る“ことば”

大学生活は、入学から卒業まで長いようで短い月日です。さまざまな人と共有する時間は、いつでも一瞬一瞬が大切なひととき。未来の自分自身をかたちづくる堅固な土台になります。かけがえのない時間を過ごす皆さんの参考にしてください。

早めの目標設定が夢を手にするチャンス

大学入学直後から「公務員になる」という目標を持ち、住居のある江南市の職員を目指し、毎日勉強をしていました。

名経大では公務員試験対策講座等の資格取得支援講座が充実しており、勉強しやすい環境にも恵まれていました。本学の講座を受講し、過去問題等を繰り返すことにより、愛知県警察本部からも合格通知を手にする事ができました。

日々の積み重ねが結果に繋がるとは思いますので、後輩の皆さんもできるだけ早く目標を持ち、夢に向かって頑張ってください。



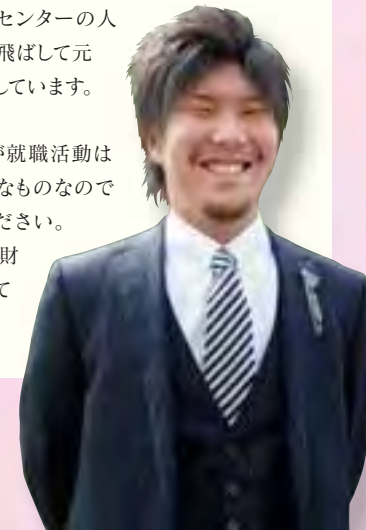
江南市役所(行政職)
大沼 晃 さん
法学部 法学科 卒業

夢に向かうには持久力先を見て走り出そう

名経大に通い大変だったのは単位取得と就職活動でした。1年生の頃、勉強に励まなかったことが原因だと思います。2年生が終了した時、留年ギリギリで進級できました。そんな私でも無事卒業することができました。

授業を受けながらの就職活動は一番体力がいります。そんな時、協力してくれたのがキャリアセンターの人たちでした。就職難の時期でもあったため、うまくいかないこともありましたが、キャリアセンターの人たちはネガティブになっても笑い飛ばして元気づけてくれました。本当に感謝しています。ありがとうございました。

来年も就職難が続くようですが就職活動は短距離走ではなくマラソンのようなものなので体力を上手に使い乗り越えてください。私は名経大で得たものを自分の財産だと思い、社会人として頑張っていきます。



半田信用金庫(総合職)
森地 武史 さん
経営学部 経営学科 卒業

一つのことに打ち込み自身を磨くこと

名経大に入学して弓道と出会えたことは人生を変える程の大きな出来事でした。

切磋琢磨しあえるかけがえのない友人に出会い、多くの方々にいただいたご指導が私の血となり肉となりました。そして、それは私の大きな喜びと自信になっています。

大学生活4年間は一つのことに打ち込める最後の機会です。人生を振り返った時、宝となるのは自らが歩んだ道だけです。何にでもなれる学生の間に、自身の柱を作り出してほしいと思います。



愛知さわみ看護短期大学(総合職)
藤田 聖也 さん
経済学部 現代経済学科 卒業

大学での学びを深めて社会で活かそう

学生生活を振り返り印象に残っているのは、今も大切に思える仲間と出会えたことでしょうか。在学生の皆さん、大学でよく学び、いい仲間を見つけて充実した時間を過ごしてください。

私の赴任先は中学校で、近くの小学校の分と合わせて100食前後の給食を作ります。栄養士は新人の私一人で不安もありますが、やりがいも感じられると思います。栄養士として成長できる良い環境に恵まれたと思うので私なりに頑張っていきたいです。



長野県教育委員会(栄養士)
二宮 早苗 さん
人間生活科学部 管理栄養学科 卒業

多くの出会いを知ることで視野が大きく広がる

名経大に来て良かったと思うことは、多くの“出会い”があったことです。例えば名経大の先生方は学生のやる気にこたえ、勉強でも遊びでもサークルでも、とことん付き合ってください。スキーや海への旅行、公務員試験のときには合宿所で強化合宿。そのとき先生が朝ごはんまで作ってください、これには皆大喜びでした。

辛いこともあるけど、楽しいことの方が断然多い。名経大での4年間に後悔はありません。



犬山市役所(保育士)
橋本 海 さん
人間生活科学部 幼児保育学科 卒業

行動する勇氣前進する一歩が大切

名経大では、同じ夢を持つ友人、サポートして下さる先生方に会えました。楽しい時や、嬉しい時いつも友だちがそばにいました。不安な時は、友だちが支えになって話をじっくりと聞いてくれました。勉強では、お互いに高め合いながら学んでいくことができました。

また、自分の夢を叶えるために多くの経験ができました。附属幼稚園のお手伝い・交流をはじめとする様々なボランティア活動では、普段携われない貴重な経験をさせていただきました。

また、進路に関するサポート体制も強力で、多くの情報をいただきました。緑に囲まれた広大な敷地の環境の中で、のびのびと学習することができました。



私立外山幼稚園(教諭)
松田 ななこ さん
短期大学部 保育科 卒業

現状に満足せず新たなチャレンジを

2年間という短い学生生活でしたが、いろいろなことに挑戦しました。キャリアデザイン学科は、幅広い分野の授業があるので、少しでも興味を持った授業は積極的に履修しました。

また、資格を取ったり、大学祭などの運営を手伝ったり、スノーボードのサークルに参加したりして、学生生活を楽しく過ごしてきました。あっという間に2年が過ぎ、卒業するのが寂しいです。

在学生の皆さん、今ある現状に満足しないで、いろいろなことにチャレンジしてください。



ワールドストアパートナーズ(販売職)
鳥山 美和 さん
短期大学部 キャリアデザイン学科 卒業

新学部長からのメッセージ

新1年生の皆さん

ご入学おめでとうございます。

皆さんは様々な期待に胸をふくらませて新しい学生生活をすでにスタートさせていることでしょう。一方、昨今の経済・社会情勢の変化をみて、将来への不安を感じているかもしれません。それは、一面では、若者らしい直観力として大いに評価すべきものだと思います。しかし、それだからこそ、この4年間の大学生活においては、時代の趨勢に流されずに広い視野に立って、物事の本質を観る訓練をすることに意義があります。

ほとんどの人にとっては、学校教育を受けるのはこの4年間で最後になるといえます。これからの長い人生と較べれば、たったの4年間です。若いときは体力もあり好奇心も旺盛です。いろいろなことに挑戦し、経験し、感じてみることも大切ですが、しっかりと学問することに軸足を置いて過ごせば、きっと将来に大いなる実りを得ることになるでしょう。

経営学部では、徹底した少人数による1年生の演習、様々な将来設計に対応して系統的に学修ができる四つのコース制、専門科目間の関連性を理解できるウェブシステムなど、皆さんが充実した学生生活を送るためのサポート体制を整備しています。それらの充実・発展に、私たちはさらなる努力を続けてまいります。



経営学部長
横山 光伯
Mitsunori Yokoyama

荒鹿ゼミの中居さん 簿記検定1級みごと合格!

経営学部 経営学科 4年 中居 大和

昨年11月に行われた日本商工会議所主催の簿記検定1級に合格することができました。簿記は高校時代の授業がきっかけで興味を持ち、大学入学後は経営学部の会計特別奨学生として日々勉強に励んできました。今回の合格は長年の努力が実った結果なのでとてもうれしく思っています。

簿記というのは、企業が最終的に黒字になったか赤字になったか、そして所有している財産や借金の額はいくらかとといったことを明らか

にするために必要な技術のことです。したがって、企業が営業活動の成果を明らかにするために欠くことのできない重要なスキルと言えます。

自分の最終目標は公認会計士試験に合格することなので、日商簿記検定1級の合格はまだまだ通過点に過ぎません。これからもより一層勉学に励み、将来はビジネスの世界で信頼される公認会計士になりたいと思います。



荒鹿先生からのメッセージ

経営学部 経営学科 准教授 荒鹿 善之

中居くんは普段は物静かですが、うちに秘めた強いものを持っています。今回の資格取得も彼の意志の強さとたゆまぬ努力が実を結んだのだと思います。



第4回 Meikei Award 受賞者

(平成21年度顕彰制度)

学術研究センター主催の学生顕彰制度「Meikei Award」第4回表彰式が、学内本館講堂にて3月12日に催されました。表彰された方は次のとおりです。



- | | | |
|----|------|---|
| 個人 | 最優秀賞 | 伊藤 豊大 (短期大学部キャリアデザイン学科2年)
ジャパンパラリンピック水泳大会3位 |
| | 優秀賞 | 中居 大和 (経営学部経営学科3年)
日本商工会議所簿記検定試験1級合格 |
| | 奨励賞 | ホアン・レー・マイ (経済学部現代経済学科1年)
外国文化普及活動
小田 正信 (法学部法学科1年)
宅地建物取引主任者資格試験ほか合格 |
| 団体 | 最優秀賞 | 後藤 真由香 (短期大学部保育科2年)
犬山市制55周年記念事業実行委員会委員として活躍 |
| | 優秀賞 | 松田 ななこ (短期大学部保育科2年)
犬山市制55周年記念事業実行委員会委員として活躍 |
| | 奨励賞 | 山口 道子 (法学部法学科4年)
第2回和道会練成館空手道競技大会3位 |

- | | | |
|----|------|---|
| 個人 | 最優秀賞 | 学生カフェ「メレンゲ」 コミュニティープラザにおける店舗の立ち上げと運営 |
| | 優秀賞 | 管理栄養学科チーム李ゼミナール 地域でお弁当を販売し、地域雑誌にレシピを紹介 |
| | 奨励賞 | 管理栄養学科長島ゼミナール (4年生) ケーキの制作で附属幼稚園に協力
管理栄養学科長島ゼミナール (2年生) 幼稚園児への食育活動
弓道部 第43回愛知県下学生弓道選手権大会準優勝 |
| 団体 | 最優秀賞 | 地域調査班 地域の人達と協力して「地域安全マップ」を作成 |
| | 奨励賞 | ラグビー部 20歳以下世界ラグビー選手権大会の名古屋会場で運営に参加 |

平成21年度 学長賞受賞者

本学では卒業生の中で学業・スポーツ・文化活動の各分野において、「優れた評価を受けた」「優秀な成績を修めた」「本学の名誉を高めた」などの顕著な功績のあった個人・団体に対して「学長賞」が授与されました。今回は10名の学生が表彰されました。



受賞者の皆さん

- | | | |
|-------|-----------------------|---|
| 大学院 | 博士号を取得した学生 | 田井 良夫 法学研究科 企業法学専攻博士後期課程
(指導教授・本庄資教授) |
| | 学業が特に優秀であった学生 | 西方 広希 経済学部 現代経済学科 (岸野ゼミ)
大山 貴弘 経営学部 経営学科 (荒鹿ゼミ)
小川 祐佳里 法学部 法学科 (高橋ゼミ)
筒井 春奈 人間生活科学部 幼児保育学科 (小林修ゼミ)
宇佐見 祐加 人間生活科学部 管理栄養学科 (若林ゼミ) |
| | 文化活動に顕著な功績があった学生 | 綿貫 虹子 人間生活科学部 管理栄養学科 (李ゼミ) |
| 短期大学部 | 学業が特に優秀であった学生 | 平田 美樹 キャリアデザイン学科 (渡邊(道)ゼミ)
佐野 友美 保育科 (吾妻ゼミ) |
| | スポーツ・文化活動に顕著な功績があった学生 | 伊藤 豊大 キャリアデザイン学科 (高田ゼミ) |

アメリカで出会った「日本料理」

経済学部 現代経済学科 准教授 下川 郁子



石奥筆者

昨年3月末まで在外研究のため、1年間フロリダ州中部オーランドに住んでいた。私の所属していた大学のある地域は日本人が少なく、大学で1年間日本人学生に全く出会うことがなかった。

しかし、日本人が少ない地域ではあったが、日本食、特に寿司は人気があり、日本の寿司とはかけ離れたものであったが、大学の売店にも、スーパーにも寿司をパックして売っているコーナーがあった。また、日本料理・寿司レストランも大学の近くにいくつかあり、教授や学生たちに7カ所連れて行ってもらったが、恐らく日本人経営のところは1軒もなかったのではないと思う。そのうち、印象に残っているところをいくつか紹介したい。

オーランドに着いて間もない4月末、日本文化が好きという学生たちに、キャンパス近くの寿司レストランに連れて行ってもらった。メニューがよくわからず適当に頼んで出てきたものは、鮭を寿司飯で巻いて切ったものの上にカニカマのようなもの、そして天かす、その上からサウザンドアイランドドレッシングがかけられていた。「これが寿司？」とさすがにびっくりした。

その後、別の寿司レストランに、日本語を教えていた学生たちと行った。定食を頼んだら、四角い箱の中に握り寿司が数個ごろりと並べられており、他に小さい春巻きとシュウマイなどが入っていた。それに大ぶりの茶碗にてんこ盛りのご飯がつくのである。学生によると、アメリカ人にはなるべく量を多くした方が喜ばれるからだそうだ。

また、日本語を教えていた学生のご両親がダウンタウンのアメリカ人経営の日本料理店

Amuraに連れて行ってくれた。気になったのはその名前であった。何でも最初はSamuraiとつけたが、すでにその名前の店があったので、s&tをとってAmuraとしたそうだ。たくさんのお客で賑わっていたが、出てきた寿司はやはりAmerican sushiであった。

帰国前には、アメリカ人の学生たちが、オーランド郊外にある日本料理店で送別会を開いてくれた。そこで出されたお箸が長く重く、どう見ても中国の箸としか思えなかった。店内では、客の前でアジア系の料理人が酒を使って火柱を立てながら、肉や野菜を鉄板の上で手際よく焼いていた。すると、店にいた客のひとりが誕生日だということでお祝いのためか、店側が銅鑼を勢よくジャンジャンと鳴らし始めた。

食べ終わって外へ出ると、客が待っている広い場所があり、灯籠が置いてあったが、どう見ても日本のものには見えない。他に狍犬らしき物も置いてあり、要はオリエンタルなものをとにかく集めて置いたという感じであった。

アメリカ滞在の最初の頃は、本場のものとはかなり異なるものが日本料理、寿司と言われていることに抵抗を感じていた。しかし、味や盛りつけがアメリカ人の好みに合わせて変わるのもっともなことであるし、またそれだけ人気があるということは日本料理がヘルシーでおいしいからばかりでなく、日本に対するイメージもポジティブなものだからだと、次第に思うようになっていった。現地の生活に慣れるに従って、むしろ本場の日本料理との違いを楽しめるようになったのだ。

今回は、短期大学部キャリアデザイン学科の光松佐和子先生です

子育てをしながら学んだ2年間



短期大学部 保育科 卒業 鈴木 弘子さん

若い時は、自分のことを考える余裕もなく無我夢中で子ども二人の育児をしました。子どもの手が少し離れると保育の資格が取りたいという思いが芽生えましたが、資格を取得することは容易なことではないと思い、何度も迷いました。手が空いた頃パート勤務を始めましたが、仕事と育児の両立の難しさに直面しました。同時に、保育士資格を取得して働くお母さんの力になりたいという思いも強くなり入学を決めました。

入学当初は、若い学生との年齢差で不安もありましたが、共に学び合う中で若い学生から刺激を受けることが多く、最近

の学生の考え方に触れていくことができました。保育科の学生は明るい性格で行動的な学生が多く、私自身が励まされることが沢山ありました。多くの学生と学び合い支え合う中で、仲間の存在が心強く感じられることも多い2年間でした。

講義では、保育に関する知識や技能だけでなく教職員の皆さん方から人間の生き方などについても教えられる面がありました。その中で、昨日の自分より今日の自分と少しずつ向上するような気持ちを得ることができ、大学は人間教育の場でもあるということを実感しました。

今、保育科で学んだことで自分の子育てに関する考えも広がり深まったように思います。これからの子育てにも生かしていきたいです。同様、保育の現場に出ても保育科で学んだことを発揮し、子どもと共に成長していけるよう今後も学習する意欲を持ち、進んでいきたいと思っています。



熱心に展示物を見学し投票する参加者

短大保育科では、学外実習が全て終了した2年生の11月末から、2年間の学習の集大成として、学生たちが30グループにわかれ、「ぜひ行ってみたい!!」と考える遠足の計画をバーチャルで立案することに取り組みました。

それぞれの計画案の成果は、計画の概要がわかるポスターと保護者向けの「遠足のお知らせ」の二つに結集し、1月から4週間展示し、見学した人が「自分もぜひ行ってみたい!!」と思った計画三つを選んで投票することで、優秀な作品を選出しました。今年で2回目ですが、去年よりも計画の内容、展示物の出来映えともに完成度の高いものが出そろい、投票する方も選ぶのにとっても苦労したと思います。

保育科の学生、教職員あわせて116人から合計343票の投票があり、そのうちの43票を獲得した竹本さん、長房さん二人の「市民四季の森」の計画が第1位に選ばれました。

2月15日の成績発表の日に、上位入賞者への表彰が行われました。下の写真はプレゼンターの船井科長から手渡された第1位のプレゼント「赤ずきんちゃん」のパペットをかかげる二人です。二人とも4月から保育現場で先生になります。この経験を生かし、子どもたちの一生の思い出になる遠足を実践してほしいと思います。

短期大学部 保育科 准教授 市毛 愛子

ぜひ行ってみたい!! 遠足の計画 コンテスト

次の遠足でさっそく使ってみて!!
ウキウキワクワク、楽しいプランがいっぱい!!



投票で1位になった「市民四季の森」ポスター

★電車などの所要時間なども考えて計画を立てたり、マップやお便りを子どもや保護者の方にわかりやすく作ることは大変でしたがとても楽しかったです。
現場に出たらこの経験を生かし、子どもたち目線で計画を立てられるようがんばりたいです。

短期大学部 保育科 卒業 竹本 奈津美

★保護者に配布する遠足のお知らせを作る時、まず最初に考えたのは、子どもにも保護者にも見やすくて分かりやすいものにしてほしいということでした。
カラフルで可愛い絵が描いてあるだけでも、遠足に行く場所を想像してワクワクできたり、楽しみな気持ちでいっぱいになると思います。保護者にも子どもにも行事の内容を詳しく知ってもらえるプリントになるよう心がけました。
4月からクラス担任になりますが、テキストや保育雑誌を参考にしながら子どもたちが喜ぶようなプリントを頑張って作成していきたいと思っています。

短期大学部 保育科 卒業 長房 翔子



メイケイのお弁当日和 春のオリジナル・ベトナムの弁当



ベトナムの家庭料理をお弁当に

人間生活科学部 管理栄養学科 4年 森 郁恵

今回は、ベトナムのハノイから留学に来ている経済学部現代経済学科2年のホアン・レー・マイさんとベトナムの弁当をみなさんに紹介します。

マイさんの話によると、ベトナムは熱帯地域で年中高温多湿なので、食べ物の保存などの管理がとても難しいそうです。ベトナムの学生は、弁当を持っていく習慣がありません、屋台で買って食べたり、一時帰宅して家で食べたりするそうです。

ベトナムではなじみのない弁当ですが、マイさんに教わりながら詰めてみました。メニューはソイ・ガー、生春巻き、春雨の炒め物、揚げ春巻き、肉詰め揚げ豆腐のトマト煮、マンゴープリンです。ソイ・ガーとは鶏のスープで炊き込んだご飯の上に、煮た後にこんがり焼きあげた肉をのせた料理です。このご飯は、南部地方で食べられているものです。生春巻は、ライスペーパーが割れやすいので、取り扱いに注意！今回は、エビやニラなどを使いましたが、自分の好きな食材を入れてアレンジしても楽しいと思います。春雨の炒め物は、春雨を少し硬めにもどすのがポイント。春雨のかわりに、フォー（平打ちの米粉の麺）やビーフンに変えても美味しくできます。肉詰め揚げ豆腐のトマト煮は、代表的な家庭料理の一つだそうです。豆製品はベトナムでもよく食べられている食材だそうです。ベトナムは日本と同じ米食文化ですが、様々な加工品（ライスペーパー、ビーフン、フォーなど）を多く使用しているのを知ってとても興味深かったです。皆さんも是非ベトナム料理を味わってみてください。

マイさんは、ベトナムでは一般的ではないお弁当文化に触れてとても貴重な体験になったそうです。マイさん! Cám ơn(ありがとう)!



森 郁恵(左) ホアン・レー・マイ(右)

BMW のディーラーで働く河田さん 信じる道を駆けぬける、大いなる喜び

10,000人を超える名経大の卒業生。ここではあらゆる業界の現場で活躍する卒業生の今を紹介します。
これからの大学生活のヒントにしてください。

いろんな人と出会えた在学時代の経験 人と接する楽しみを学べたことが財産に

学生にのびのびと活動させてくれる先生方も多く、学校の雰囲気大好きでした。在学時には様々な人と出会ったことが最大の財産。勉強、部活動も大切でしたが、友人から受ける多くの刺激が、学生生活をより実りあるものにしてくれたのだと感じています。

在学時で思い出深いのは、アルバイトを掛け持ちして2年間で200万円を貯めて憧れだったBMWを買ったことです。昔から「これ!」と決めたら、突き進む性格だったんです。当初はクルマを買う手段でしかなかったバイトも、人とのコミュニケーションを学べる場であり、良い勉強をさせてもらえたと思います。

今の会社も新卒採用の予定がなかったのですが、何度か電話をして熱意が通じたのか「話だけでも聞いてあげるよ」と言ってもらえました。実力主義の世界でやっていく自信もあったので、「誰にも負けません」という気持ちをアピールして採用をいただきました。

ですが入社1年目は成績も上がらず自信は見事に砕かれてしまいました。その後、尊敬する上司に認められたい、そのためにも成績を伸ばしたい、と考え行動するよう心掛けました。そのかいあって、全国トップセールスにもなれました。営業は会社の根幹を支える仕事、その自負を持ってこれからも自分を磨いていきたいです。



株式会社ケイビーエスオート
Gifu BMW 多治見支店 勤務
河田 哲也 さん
Tetsuya Kawada



Profile

1980年、愛知県生まれ。
愛知県立犬山高等学校を卒業。
法学部国際関係法学科1期生。
2003年3月に卒業し現在の会社へ。
年間30台販売できれば一流と言われる中で122台という抜群の販売成績を残し、2007年には正規ディーラーの全国トップセールスとして表彰される。
昨年12月朝日新聞夕刊で大きく報じられ、またNHK「会社の星」でも紹介される。

INTERVIEW

研究室訪問 02

今回は、行政法を専攻する萩原准教授に
研究の取り組みや学生時代の思い出を伺いました

～ 法学部 法学科 萩原 聡央 准教授 ～



法学の世界には、憲法・民法・刑法など数多くの分野があります。私の専攻する行政法もそのひとつですが、いわゆる六法(憲法・民法・刑法・商法・民事訴訟法・刑事訴訟法)のようにメジャーではありませんし、どちらかという敬遠されがちな分野だと思います。実際に、学部時代の行政法に対する私の印象は、正直にいうと、「難しい、面白くない」というものでした。

私が行政法に対して本当の意味で興味を覚えたのは大学院生になってからです。大学院で最初に受講した行政法特殊講義は、アメリカの行政法学者デイビス教授の著書『裁量的正義(Discretionary Justice)』を講読するという内容でした。この講義が行政裁量に対する関心を持つきっかけとなり、さらに刑事施設に対する関心もあったため、大学院時代は主に行刑に存在する裁量をどのように統制するべきかについて研究を進めてきました。

本学で行政法の講義を担当するようになってからは、刑事施設の民間化やアイルランドの個人情報保護制度について研究してきました。なお、現在は、警察行政領域に関心を持っており、たとえば子どもの虐待やストーカー事案等における警察権限不行使の問題と、警察裁量の統制に関して説かれる警察消極の原則や警察公共の原則(民事不介入原則等)といった警察権の限界論との関係などについて研究を進めていきたいと考えています。

短期大学部 | 第三者評価で適格認定

名古屋経済大学短期大学部は本年3月18日、財団法人短期大学基準協会の平成21年度第三者評価で適格認定を受けました。これは平成20年度の財団法人日本高等教育評価機構による名古屋経済大学に対する適格認定につづくものです。

昨年6月に「自己点検・評価報告書」を短期大学基準協会に提出し、10月の評価チームによる訪問調査を経て適格認定となりました。

短期大学評価基準に照らして10の評価領域のすべてにおいて合格の判定をいただきました。

名古屋経済大学短期大学部は名古屋経済大学とともに次のサイクルの第三者評価でも適格認定を受けるべく教育研究活動のいっそうの充実を図ってまいります。

「特に優れた試みと評価できる事項」として次の5点が認定

- (1) キャリアデザイン学科の教育プログラムの現代GPへの選出。
- (2) 保育科の「基礎演習」、「特殊演習」を中心とした少人数教育。
- (3) 学生アンケートに基づいた学生サービスの向上、図書館の選書への学生参加。
- (4) 保育科の全教員の共同研究と成果の刊行。
- (5) キャリアデザイン学科1、2年生すべてのゼミナールによる地域FM放送番組の担当。

「向上・充実のための課題」として次の5点が指摘

- (1) 名駅サテライトキャンパスにおける教育内容、施設設備、学生サービス等の更なる充実。
- (2) 個人研究実績の偏りの解消。
- (3) 事務職員の研究制度の確立と若手教職員の意見・提案の活用。
- (4) 2学科の定員充足率の改善と財務の改善。
- (5) 自己点検評価活動の継続的な取り組み。

※「早急に改善を要すると判断される事項」についての指摘はありませんでした。